

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市なかよし学園		
2 指定管理者	社会福祉法人なのはな会		
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・ 令和3年度 5,661人（前年度比 105%） ・ 令和2年度 5,392人（前年度比 98%） ・ 令和元年度 5,517人（前年度比 105%）		
	《事業》 ・ 児童発達支援事業		
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 93,371千円（83,307千円） ・ その他市が負担した費用 6,145千円（13,094千円） （ ）は前年度決算額		
	《収入》 ・ 使用料収入 84,046千円（71,717千円） ・ その他収入 0千円（0千円）		
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 令和4年2月、指定管理者の協力のもと、障害者支援課で利用者アンケートを実施した。		

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営にあたっている。 利用者個々の特性に寄り添った療育を工夫して行っている。 近隣の特別支援学校や子育て支援機関等と連携し、地域支援の充実にも積極的に取り組んでいる。	42/42
II 施設の運営管理体制	事業計画に基づいた運営がなされている。経理書類の作成及び通帳印鑑の管理についても適正に行われている。 また、各種マニュアルを整備しているほか、毎月の避難訓練に加え、近隣の支援学校や社会福祉施設との合同訓練を実施しており、利用者の安全に配慮した運営に努めている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	冬は廊下と室内の寒暖差が激しいため、保護者より廊下の暖房設備設置を要望する声があがっているものの、清掃・衛生管理・施設の保守点検は適切に行われており、利用者が快適に利用できる環境整備に努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	サービス水準を確保するため、定期的な職員会議や研修により人材育成を図るとともに、情報共有に努め職員全体でのサービス向上を目指している。 利用児だけでなく、保護者やきょうだい児支援のニーズの把握に努め、利用者からの要望や相談に適切に対応するための体制を整えている。	27/27
V 施設固有の基準	個別支援計画について、利用者1人1人の障害特性に寄り添い、詳細に作成することに加え、様式の見直しを行い、支援者間での情報共有がしやすくなるよう工夫するなど、より効果的な支援の提供に努めている。 指定児童発達支援事業所としての基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。 一部、児童の記録が適切に残されていないものがあった。	3/4

### 三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人なのはな会）による自己評価》
<p>当事業所は、障がいの種別や状態像を問わず療育が必要な児を受け入れてきた。今年度は市内園児中途入園2名及び転入児1名の受け入れも実施し子どもの育ちを止めることない切れ目のない支援の実施を心掛けてきた。又、今年度も新型コロナウイルス感染症に関する情報提供を保護者へ迅速かつ丁寧に実施することにより保護者が安心して、療育の場へ子どもを送り出すことができるよう努めた。</p> <p><b>【発達支援】</b></p> <p>どのような障がい像の子どもに対しても発達の糸口を見つけ、育ちの支援が行えるようアセスメント表をブラッシュアップした。子どもの運動発達から感覚、認知理解に至るまでその発達の連動性が俯瞰的に確認できるように活用について園内で話し合った。又年々増加している医療的ケア児に対して、当たり前の体験や経験を積むことができるよう、医療的ケアについて学びなおし、5名が喀痰吸引等3号研修を終了し実施施設としての登録を行った。これによりより、一人ひとりの児にとってタイムリーに医療的ケアが実施できている。</p> <p><b>【家族支援】</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症に留意しながら、保護者会と共に保護者のニーズに沿った研修会や年代別及び障がい別懇談会を実施した。又、個別相談についても相談しやすいよう保護者定例会において相談受付のアナウンスを実施している。隣接している仙台市あおぞらホーム保護者に対するペアレントプログラムの実施においてはペアレントプログラムファシリテーターを派遣するなどの協力を行っている。</p> <p><b>【地域支援】</b></p> <p>今年度は、宮城野区において定期的に家庭健康課やのびすくと次年度の新たな子育てネットワークシステム作りについて検討を行ってきた。又宮城野区障害者自立支援協議会においては、区内の障害がある子ども達とその家族の課題について報告を行い、仙台市における障がい児支援について講義を実施している。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従っておおむね適切・良好に行われた。</p> <p>児童の障害種別や特性に応じたきめ細かい療育を行う工夫がなされている。また、近隣の特別支援学校等、地域の関係機関との情報交換や情報共有に取り組むほか、合築のあおぞらホームと合同で子育て支援機関からの相談に対応している。加えて、専門職の配置を生かし、地域の子育て支援機関と事例検討会を行うなど、地域の中で児童発達支援センターとして求められる役割を果たすため、積極的に地域支援に取り組んでいる。</p> <p>保護者支援においては、保護者との個別面談や勉強会を定期的に開催するなど、保護者の不安や悩みに寄り添い、相談しやすい体制を整えている。</p> <p>以上により、利用児童への発達支援だけでなく、家族支援や地域支援を含め、安定した質の高い支援を提供し、良好で円滑な管理運営を行っていることから、総合的には高く評価できる。</p>	A

#### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課